

令和7年度 高校生の就職意識調査

若者の定住化推進委員会
(事務局:津山広域事務組合)



津山広域事務組合マスコットキャラクター
ゆーたん

令和7年度 高校生の就職意識調査 目次

P 1	表紙
P 2	目次
P 3	調査の実施概要
P 4	調査の概要および回答状況
P 5	回答者の属性
P 6	現時点で希望している卒業後の進路
P 7	将来就きたいと考えている仕事の分野
P 8	将来就きたいと考えている職種
P 9	就職等を考えるにあたっての主な相談相手
P 10	就職先を選ぶポイントとして重視するもの
P 11	就職希望地
P 12	就職希望地を選んだ理由
P 13	津山圏域内に就職する若い人達を増やすために必要なこととして大切だと思うもの
P 14	現時点で進学を希望している地域(進学希望者のみ)
P 15	進学先を選ぶポイント(進学希望者のみ)
P 16	若い人達が地元就職し、定住するために、地元の市町村がすべきこと
P 17	若い人達が地元就職し、定住するために、地元の企業がすべきこと
P 18-P 23	資料(アンケート画面)

令和7年度 高校生の就職意識調査 調査の実施概要

1.調査名称

令和7年度高校生の就職意識調査(隔年実施)

2.調査目的

高校生の就職に対する意識を把握し、若者の地元就職促進対策に資するため

3.調査対象

岡山県北地域内の学校に通学する高校2年生および津山高専4年生 1,616人

4.調査方法

オンライン調査(使用システム:岡山県電子申請システム)

※各学校において回答用QRコードを記載した案内文を学生に配布した

5.調査期間

令和8年1月7日(水)~同年3月6日(金) ※当初の予定より1週間延長

6.回答率

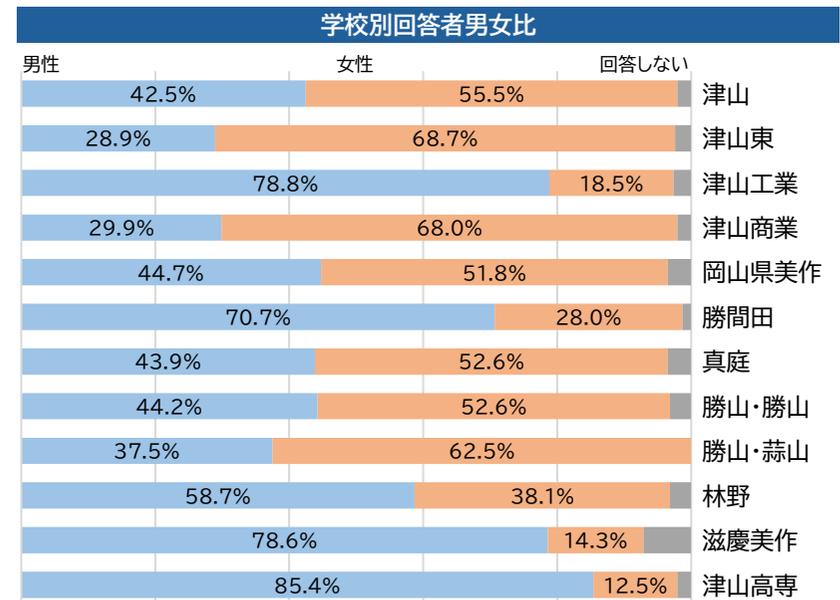
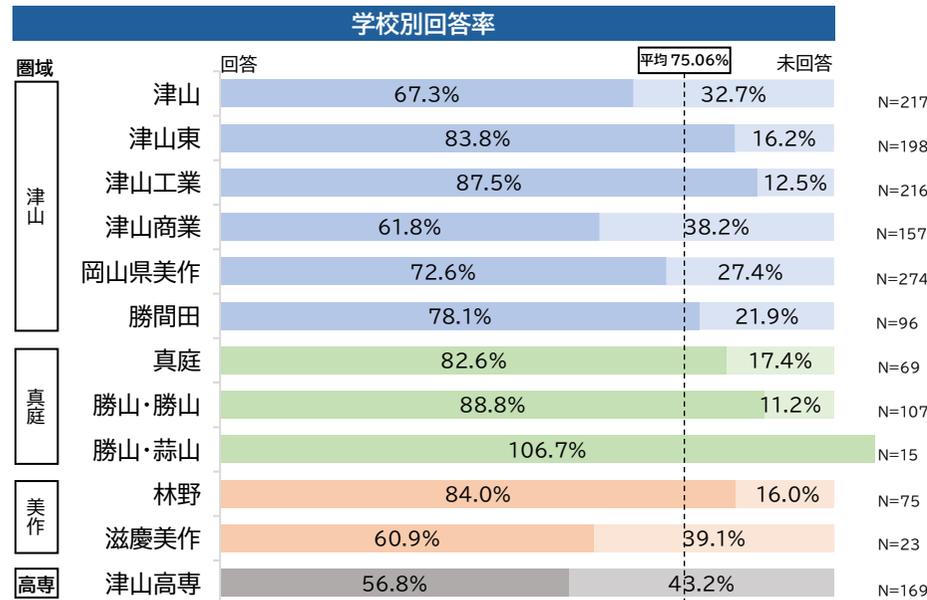
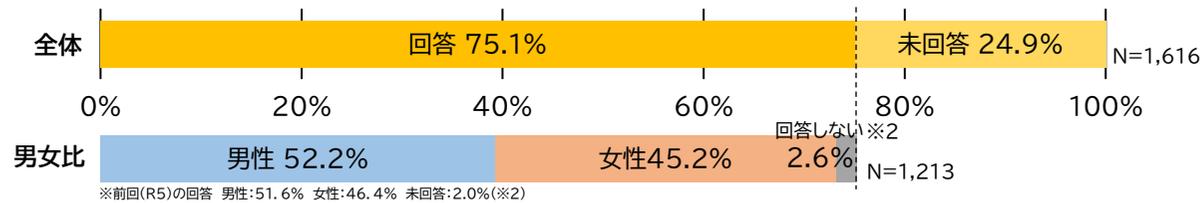
75.1%(前回比▲13.7%)

7.質問項目

- 在籍している学校名
- 在籍している学科名
- 性別
- 出身地
- 現時点で希望している卒業後の進路
- 将来就きたいと考えている仕事の分野
- 将来就きたいと考えている職種
- 就職等を考えるにあたっての主な相談相手
- 就職先を選ぶポイントとして重視するもの
- 就職希望地
- 就職希望地を選んだ理由
- 津山圏域内に就職する若い人達を増やすために必要なこととして大切だと思うもの
- 現時点で進学を希望している地域(進学希望者のみ)
- 進学先を選ぶポイント(進学希望者のみ)
- 若い人達が地元就職し、定住するために、地元の市町村がすべきこと
- 若い人達が地元就職し、定住するために、地元の企業がすべきこと

調査の概要および回答状況

- 岡山県北地域内(津山・真庭・美作)の学校に通学する高校2年生および津山工業高等専門学校4年生を対象に就職意識調査を実施。
- 本年度は、岡山県電子申請システムを使用したオンライン調査とした。(各学校を経由して回答用QRコードを記載した案内文を学生に配布)
- 調査期間: 令和8年1月7日(水)～同年3月6日(金)
- 回答者数/調査対象者数: **1,213人/1,616人(回答率 75.1%)** 前回比▲13.7% 前回(R5):1,521人/1,712人(回答率88.8%)
(回答率(推定※1)の推移 H29:93.4% R1:90.0% R3:84.1% R5:88.8%)



※勝山高専蒜山校地の回答率は100%を超えているが、全体に与える影響はわずかであることから全てを有効回答として取り扱った。

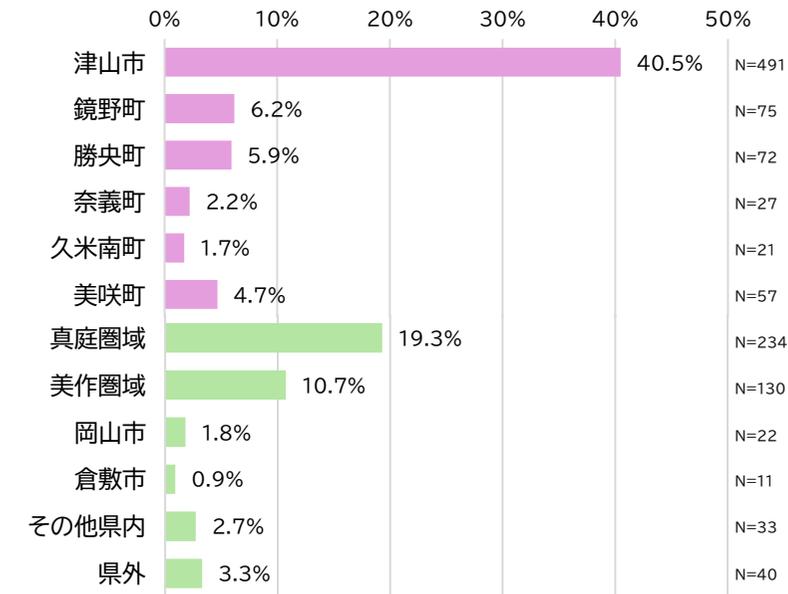
※1 H29～R5調査では、回答者の実数で報告書を作成しており、調査対象者数はわからなかった。そのため、学校訪問活動で確認していた調査年度の4月1日または5月1日時点の生徒数を用いて回答率を推定したもの。
 ※2 性別の選択肢「回答しない」は本年度調査から追加したもの。

回答者の属性

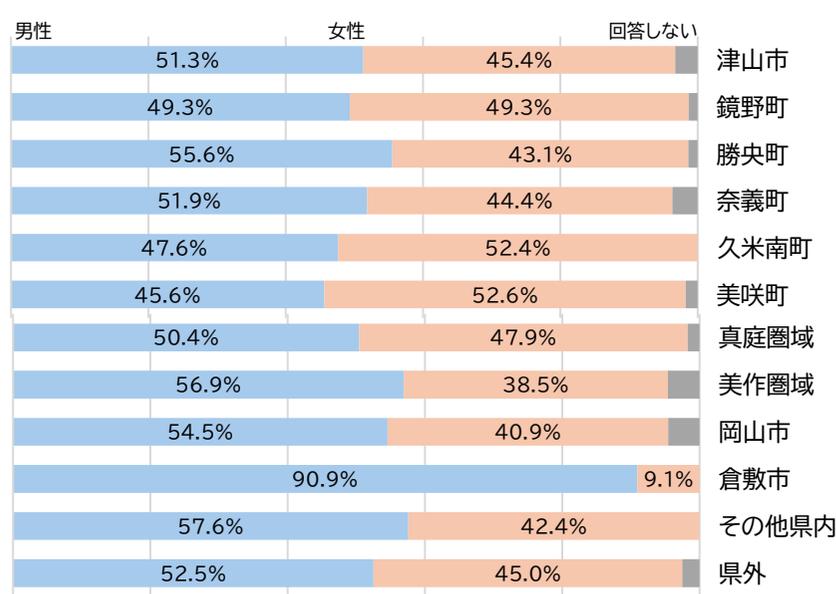
- 回答者の出身地については、「津山圏域内」が 61.3%、「津山圏域外」が 38.7%となった。 前回(R5):津山圏域内 64.6%、津山圏域外 35.4%
- 回答者の 50.8%が普通科の学生であった。



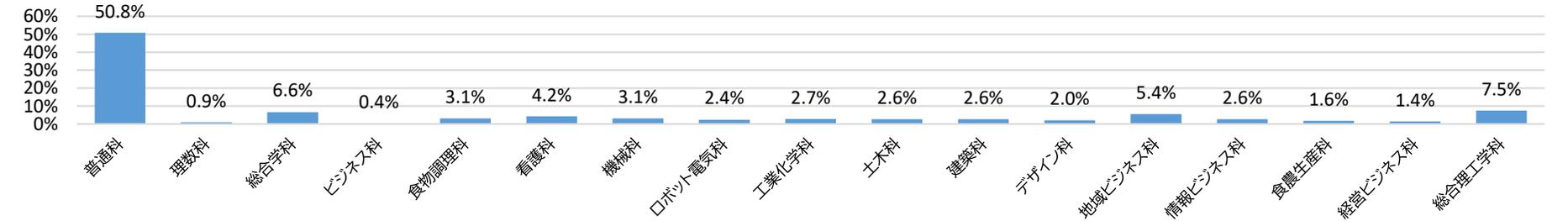
出身地(圏域内:市町村別、圏域外:エリア別)



出身地別回答者男女比

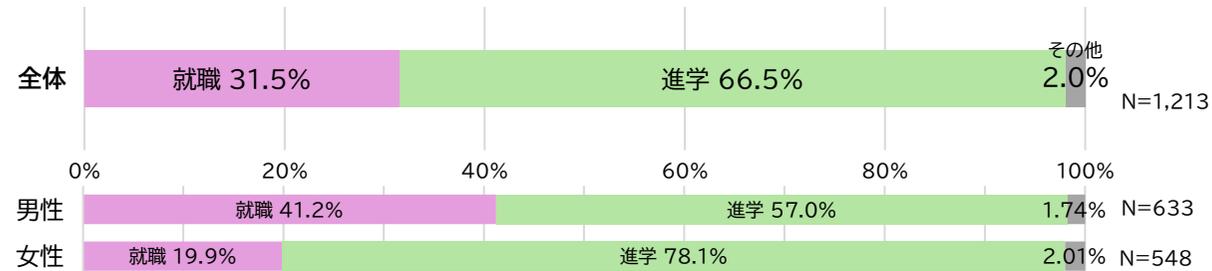


学科別

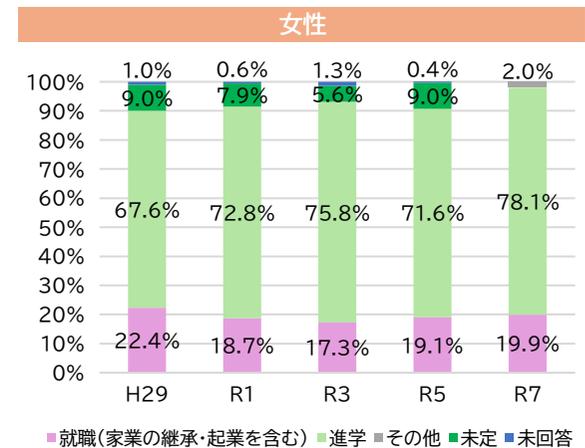
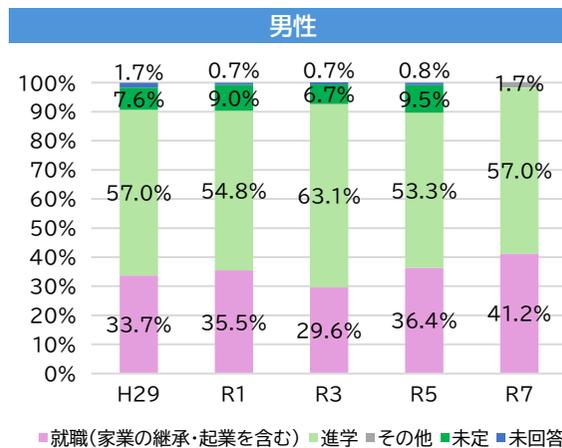
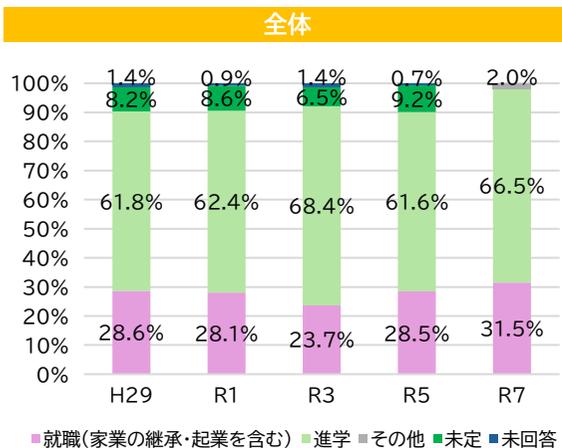


現時点で希望している卒業後の進路

- 本年度は、選択肢について「未定」を削除し、新たに「その他」を追加した。
- 希望している卒業後の進路については、「就職希望」が31.5%、「進学希望」が66.5%となった。前回(R5):就職28.5%、進学61.6%、未定9.2%、未回答0.7%
- 女性の進学希望者の割合は、前回と比較すると6.5ポイント上昇した。男女別に見ると、女性は男性を21.1ポイント上回っていた。
- 過去4回の調査と比較しても、回答の傾向に大きな変化は見られなかった。

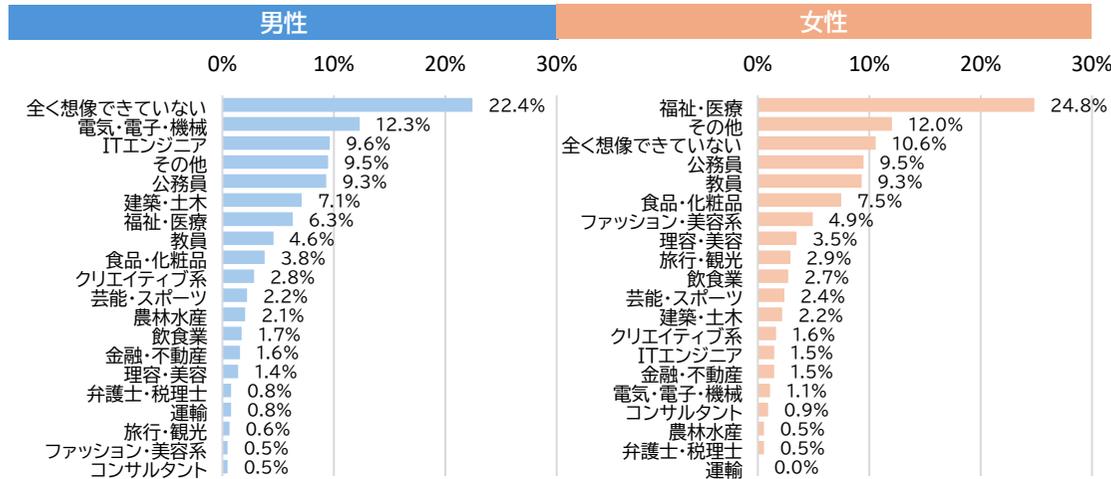
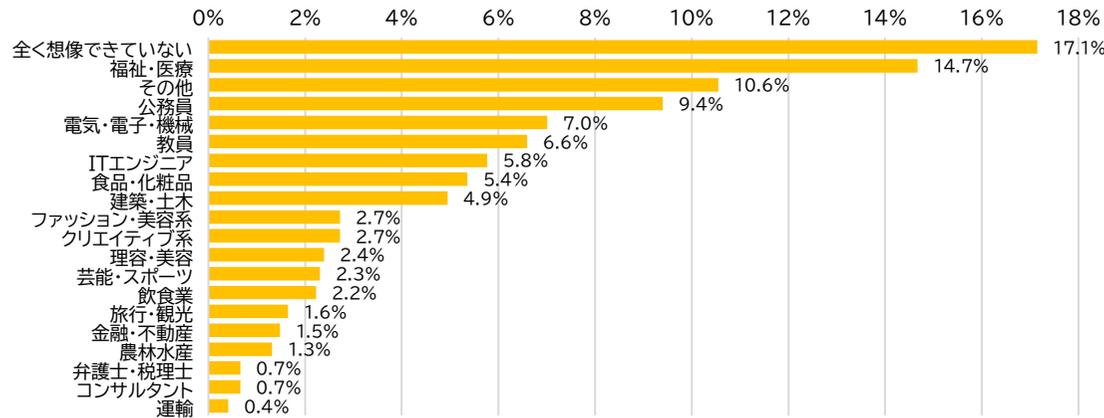


回答の推移(H29~R7)



将来就きたいと考えている仕事の分野

- 本年度は、選択肢について「分からない」を削除し、新たに「全く想像できていない」を追加した。
- 将来就きたいと考えている仕事の分野については、全体では「全く想像できていない」が最も多く、次いで「福祉・医療」、続いて「その他」となった。男性では「全く想像できていない」が最も多く、次いで「電気・電子・機械」、続いて「IT エンジニア」の順となった。一方、女性では「福祉・医療」が最も多く、次いで「その他」、続いて「全く想像できていない」の順となった。過去4回の調査と比較しても第1位の回答に変化は見られなかった。また、前回調査と比較すると、女性の「分からない(≒全く想像できていない)」の割合は 9.5 ポイント低下した。



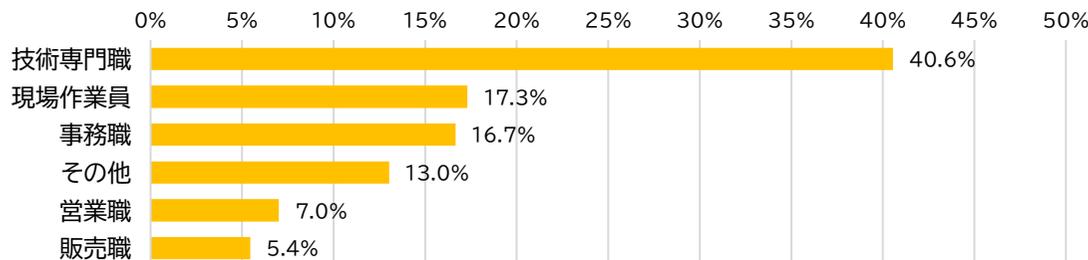
	全体	男性	女性			
H29-R7	1分からない	21.4%	1分からない	20.7%	1福祉・医療	26.3%
	2福祉・医療	16.1%	2電気・電子・機械	17.9%	2分からない	22.3%
	3公務員	10.2%	3公務員	14.6%	3教員	10.9%
	4電気・電子・機械	10.0%	4福祉・医療	7.4%	4その他	6.6%
R7	1分からない	21.5%	1分からない	23.9%	1福祉・医療	24.6%
	2福祉・医療	15.0%	2電気・電子・機械	14.2%	2分からない	17.8%
	3公務員	9.8%	3公務員	12.1%	3教員	10.7%
	4電気・電子・機械	8.5%	4IT エンジニア	9.1%	4その他	6.8%
R7	1分からない	20.5%	1分からない	22.4%	1福祉・医療	27.3%
	2福祉・医療	18.4%	2公務員	12.7%	2分からない	17.9%
	3公務員	10.2%	3電気・電子・機械	10.1%	3教員	10.8%
	4教員	8.0%	4福祉・医療	9.5%	4公務員	8.2%
R7	1分からない	22.7%	1分からない	25.2%	1福祉・医療	22.6%
	2福祉・医療	13.8%	2電気・電子・機械	16.8%	2分からない	20.1%
	3電気・電子・機械	9.9%	3公務員	10.3%	3その他	12.1%
	4その他	8.5%	4建築・土木	6.5%	4食品・化粧品	6.4%
R7	1全く想像できていない	17.1%	1全く想像できていない	22.4%	1福祉・医療	24.8%
	2福祉・医療	14.7%	2電気・電子・機械	12.3%	2その他	12.0%
	3その他	10.6%	3IT エンジニア	9.6%	3全く想像できていない	10.6%
	4公務員	9.4%	4公務員	9.5%	4公務員	9.5%

「その他」の主な回答内容(丸数字は類似の回答数,数字のないものは①)

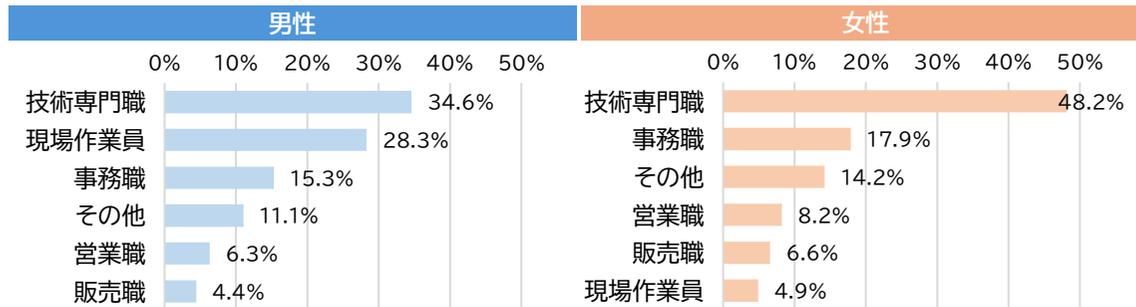
製造関係④,生物・動物関係(獣医,研究者,トリマー等)⑬,化学系・素材系・科学系・工業系⑩,プライダル関係(ウエディングプランナー等)⑧,保育関係(保育士等)⑦,整備関係(自動車整備士等)⑤,事務関係⑥,航空関係(客室乗務員,グランドスタッフ等)⑥,研究職⑤,音楽関係(音響・照明,コンサート制作等)⑥,デザイン関係(デザイナー,イラストレーター等)⑤,自然・気候・環境系③,調理関係(栄養士,パティシエ等)③,薬学関係(薬剤師,製薬,試験会社等)③,芸術関係(ダンサー,スーツアクター,伝統工芸等)③,学芸員②,国際関係②,公認会計士,通訳,メディア関係,測量,インフラ関係,図書館情報学,小売,接客,花屋,宿泊,企画,インストラクター,宗教系,迷っている④ 他

将来就きたいと考えている職種

- 将来就きたいと考えている職種については、全体では「技術専門職」が最も多く、次いで「現場作業員」、「事務職」の順となった。男性では「技術専門職」が最も多く、次いで「現場作業員」、「事務職」の順となった。一方、女性では「技術専門職」が最も多く、次いで「事務職」、「その他」の順となった。過去4回の調査と比較すると、第2位以下の順位に一部入れ替わりは見られるものの、男女ともに同様の傾向が継続している。
- 男女ともに「その他」の割合が増加しており、男性は 3.6 ポイント、女性は 4.6 ポイント上昇した。「その他」の回答には、具体的な職種名のほか、特定の技術(技能)を要するものの、技術専門職とは異なる分野として認識されていると考えられる職種名の記載が見られた。一方、「まだ決まっていない」や「進学先を優先して考えたい」とする回答も見られた。



※「その他」の回答の中には、他の選択肢の例示に含まれる職種も見られるが、原回答の区分のままとし、再集計は行っていない。



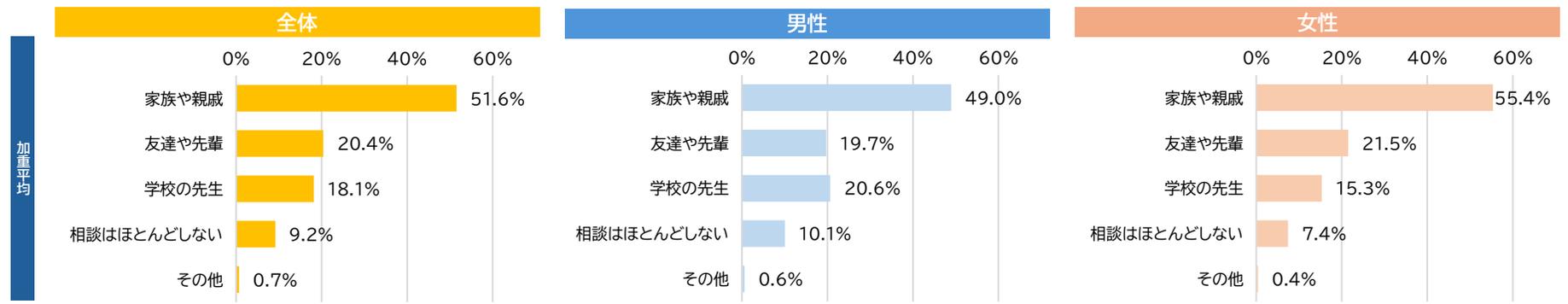
	全体	男性	女性	
1回目	1技術専門職	43.7%	37.9%	50.8%
	2現場作業員	17.4%	26.7%	16.1%
	3事務職	17.0%	17.6%	9.2%
	4その他	6.5%	6.2%	6.9%
2回目	1技術専門職	44.6%	38.9%	52.0%
	2事務職	18.0%	24.0%	19.2%
	3現場作業員	15.5%	17.3%	8.3%
	4その他	8.2%	7.9%	6.7%
3回目	1技術専門職	43.7%	34.3%	53.3%
	2事務職	18.0%	22.8%	17.6%
	3現場作業員	14.4%	18.4%	7.5%
	4その他	8.4%	10.0%	7.4%
4回目	1技術専門職	46.5%	40.3%	53.3%
	2事務職	18.1%	24.4%	17.3%
	3現場作業員	15.1%	18.9%	9.6%
	4その他	8.4%	7.5%	7.7%
5回目	1技術専門職	40.6%	34.6%	48.2%
	2現場作業員	17.3%	28.3%	17.9%
	3事務職	16.7%	15.3%	14.2%
	4その他	13.0%	11.1%	8.2%

「その他」の主な回答内容(丸数字は類似の回答数,数字のないものは①)

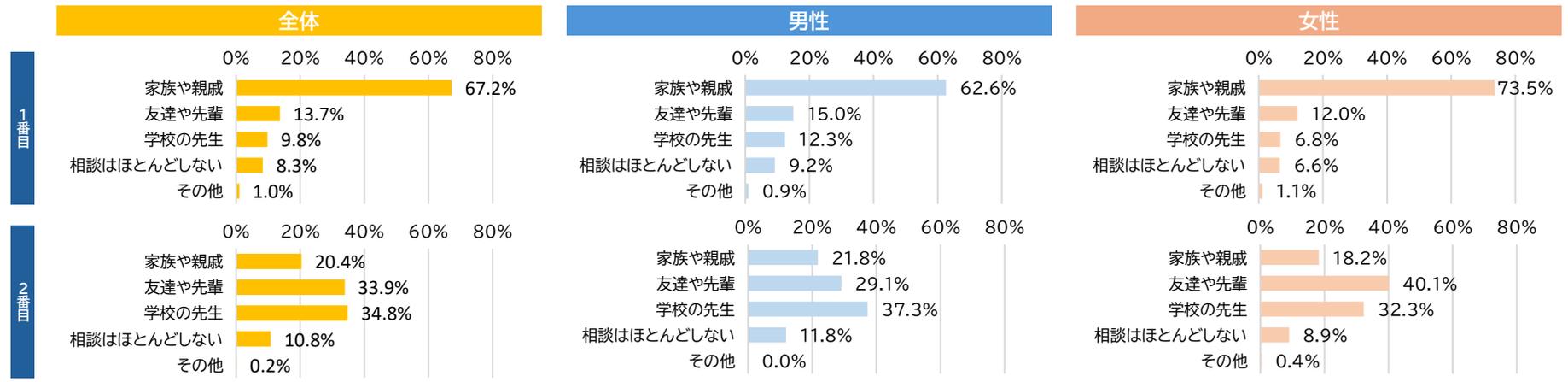
美容(美容師,メイク,ネイル他)①,ブライダル・ウエディングプランナー⑥,デザイナー・イラストレーター⑤,教員(中学校,養護,社会科他)⑤,製造⑤,栄養士(管理栄養士,栄養士)④,警察官④,研究開発④,整備士(自動車他)③,調理師③,保育士③,アニメ(アニメーター他)②,サービス③,ダンス②,パティシエ②,客室乗務員②,自衛隊②,消防士②,理学療法士・作業療法士②,PAエンジニア,アナウンサー,ウェブデザイナー,エステティシャン,カメラマン,クリエイター,スーツアクター,スタイリスト,スポーツ,トリマー,ビジュアルデザイナー,ブックデザイナー,ホテルスタッフ,マーケティング,モデル・タレント,ユーチューバー,林野庁,医療関係,庶務員,運輸関係,音楽関係,画家,海獣トレーナー,絵の先生,教育関係,経営コンサル,建設,言語聴覚士,工場,指導者,自動車エンジンの開発,取締役,柔道整備師,獣医,宿屋,小売,水族館の職員,声優,税理士,伝統工芸,動物看護,動物研究,鳶,農家 他
まだ決まっていない②,迷っている② 他

就職等を考えるにあたっての主な相談相手

○ 就職等を考えるにあたっての主な相談相手については、回答順位に応じて得点を付与する加重平均により集計・分析を行った。その結果、男女ともに「家族や親戚」が最も多く、次いで「友達や先輩」の順となった。また、2番目に相談する相手については、男性では「学校の先生」が最も多かったのに対し、女性では「友達や先輩」が最も多く、男女間で差が見られた。この傾向は、過去の調査と同様である。



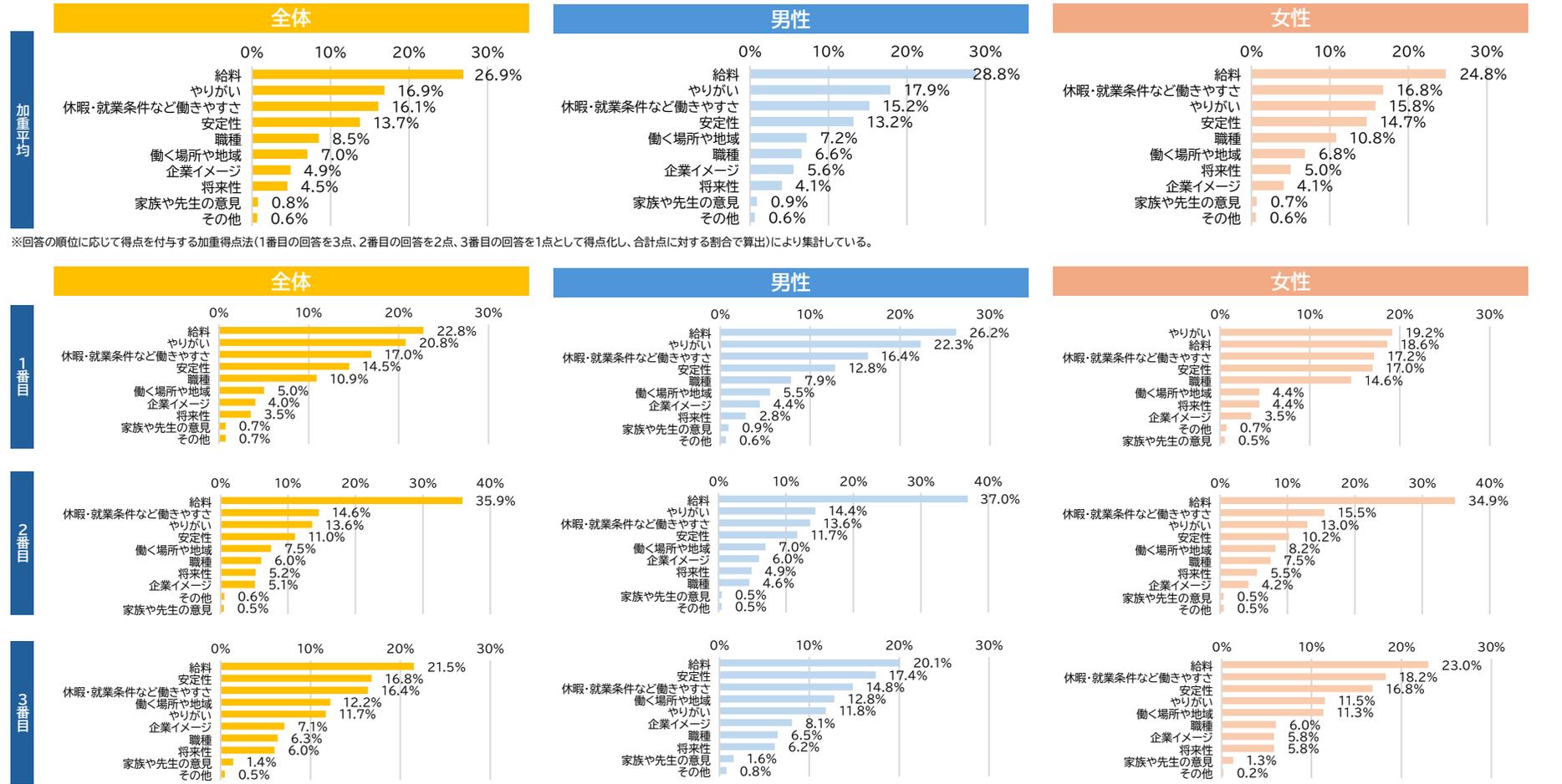
※回答の順位に応じて得点を付与する加重得点法(1番目の回答を2点、2番目の回答を1点として得点化し、合計点に対する割合で算出)により集計している。



「その他」の主な回答内容(丸数字は類似の回答数,数字のないものは①)
 人工知能(生成 AI・ChatGPT)④,交際相手②,進学を希望する学校の関係者,インターネット,アルバイト先の人

就職先を選ぶポイントとして重視するもの

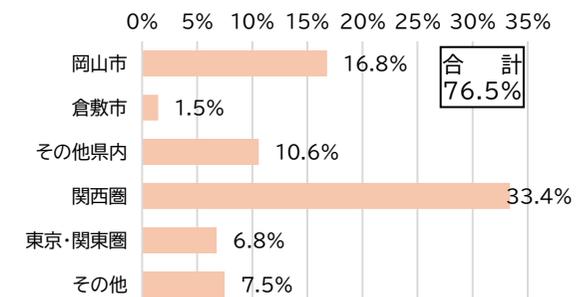
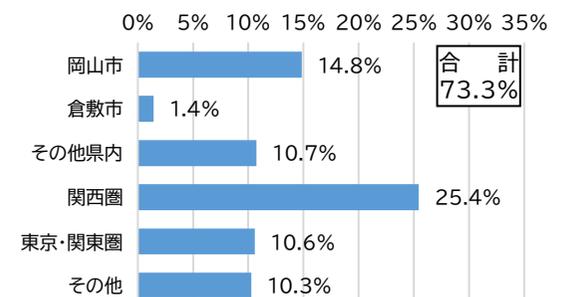
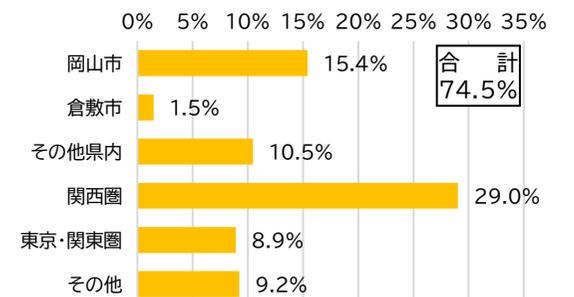
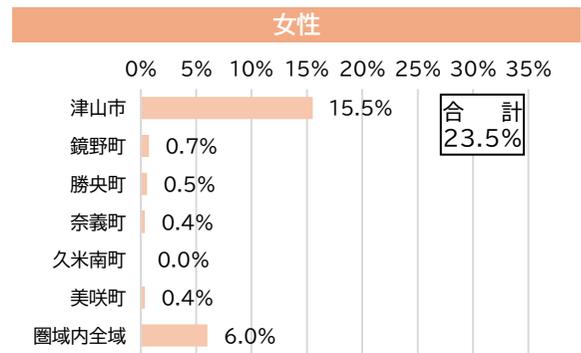
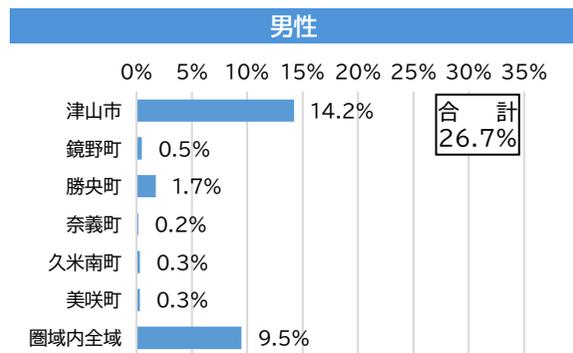
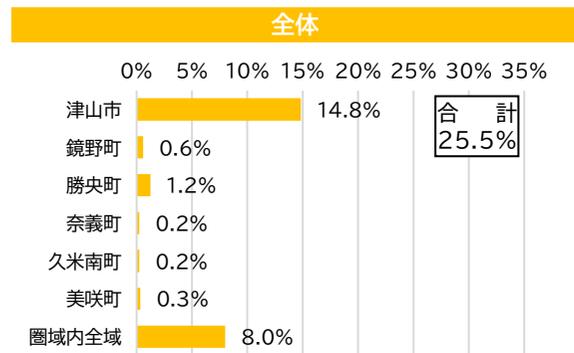
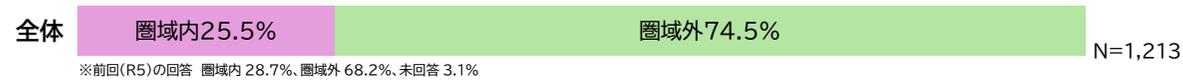
○ 就職先を選ぶポイントとして重視するものについて、回答順位に応じて得点を付与する加重平均により集計・分析を行った。その結果、全体では「給料」が最も高く、次いで「やりがい」、「休暇・就業条件など働きやすさ」の順となった。なお、女性では「休暇・就業条件など働きやすさ」が「やりがい」を上回っており、働きやすさをより重視する傾向が見られた。



「その他」の主な回答内容(丸数字は類似の回答数,数字のないものは①)
 職場の環境や雰囲気④,人間関係③,社風,企業の健全性(いわゆるブラック企業かどうか),自分がやりたいことかどうか,社員の成長に力を入れているか,通勤距離,転勤の有無,退職率,服装 他

就職希望地

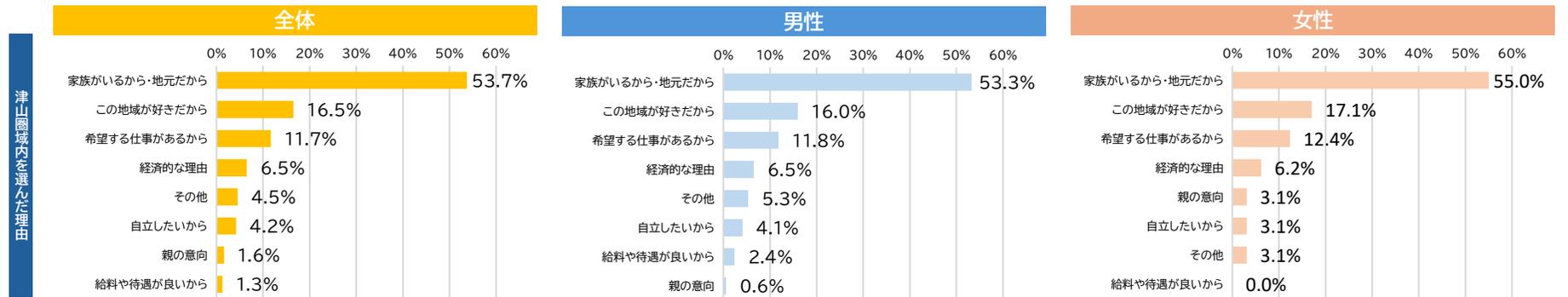
- 就職希望地については、全体では「圏域内」が25.5%、「圏域外」が74.5%となった。圏域外は前回調査と比較して6.3ポイント上昇した。
- 希望地のエリア別では、全体・男性・女性ともに「関西圏」が最も多く、次いで「岡山市」、「津山市」の順となった。過去4回の調査と比較しても、回答の傾向に大きな変化は見られなかった。
- なお、「圏域外」を選択した割合は、女性が男性を3.2ポイント上回っていた。



※「その他」の回答の中には、他の選択肢に含まれるものも見られるが、原回答の区分のままとし、再集計は行っていない。

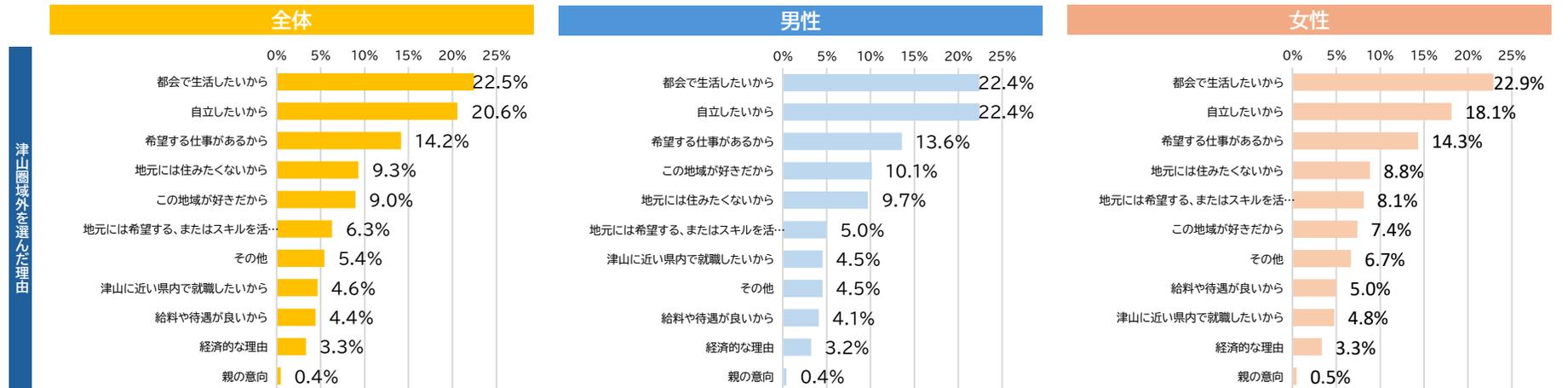
就職希望地を選んだ理由

- 就職の希望地を選んだ理由については、津山圏域内を選択した理由は、「家族がいるから・地元だから」が最も多く、次いで「この地域が好きだから」、「希望する仕事があるから」の順となった。一方、津山圏域外を選択した理由は、「都会で生活したいから」が最も多く、次いで「自立したいから」、「希望する仕事があるから」の順となった。
- 前回調査と比較すると、津山圏域外を選択した理由である「都会で生活したいから」は 5.5 ポイント増加した(前回:17%)。



「その他」の主な回答内容(丸数字は類似の回答数,数字のないものは①)

特になし③,自宅から近い③,行きたい場所がない②,一度地元で働いた後に他地域への転居を検討したい,友人がいる,どの地域に就職するのがよいか分からない,競技活動(ボクシング)との両立,将来のイメージができてない 他



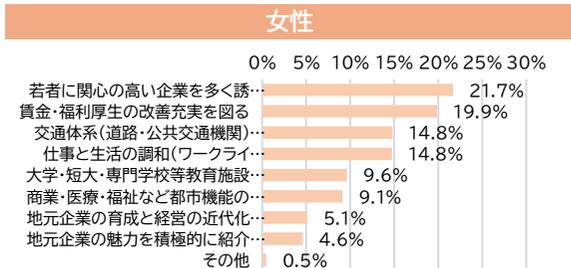
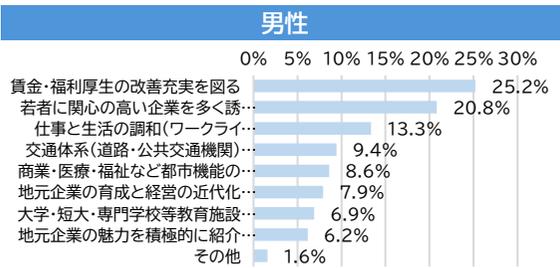
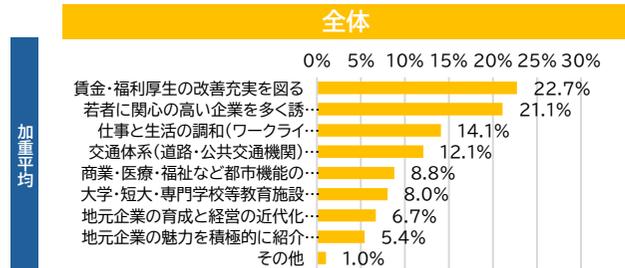
※「その他」の回答の中には、「都会で生活したいから」など他の選択肢に含まれる回答も見られるが、原回答の区分のままとし、再集計は行っていない。

「その他」の主な回答内容(丸数字は類似の回答数,数字のないものは①)

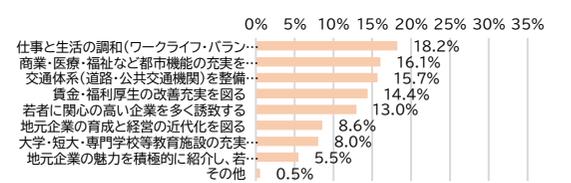
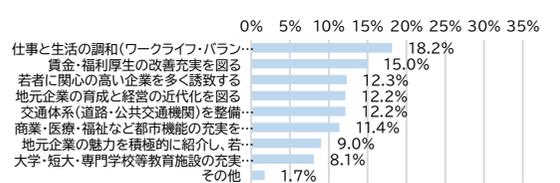
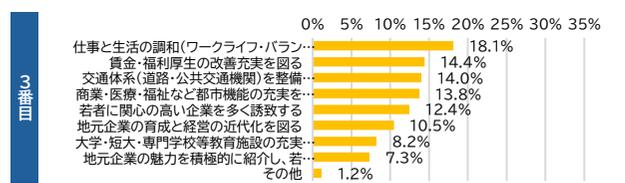
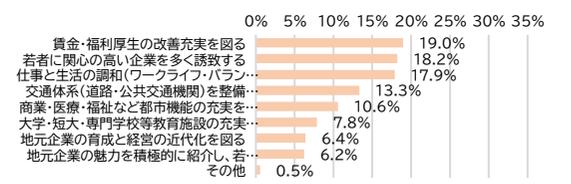
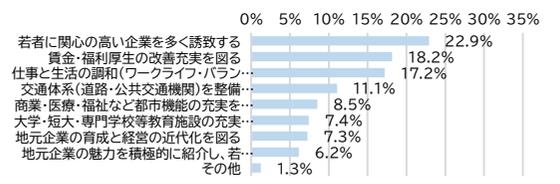
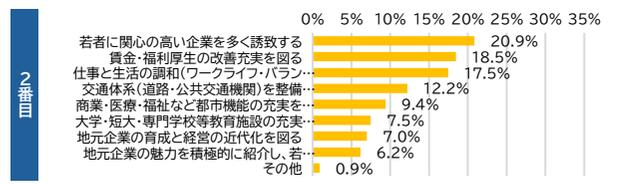
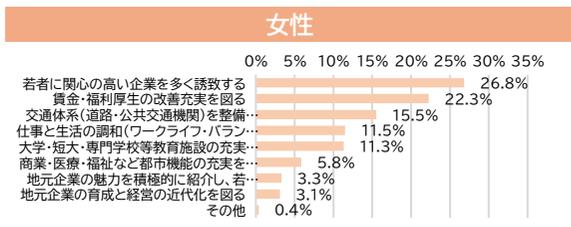
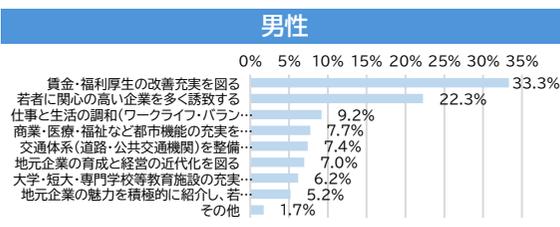
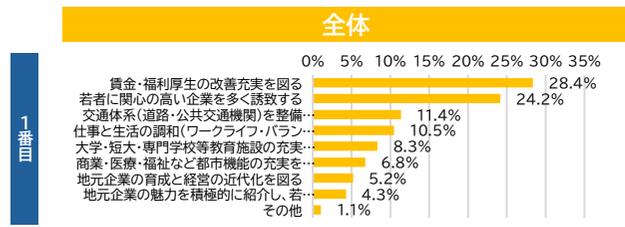
特に理由はない②,知識や経験が得られる⑨,圏域外が出身地⑥,親族・友人等がいる④,希望する進学先がある③,希望する生活環境がある②,奨学金の条件,利便性が高い,地元外で生活してみたい,Uターンは子どもができれば 他

津山圏域内に就職する若い人達を増やすために必要なこととして大切だと思うもの

○ 津山圏域内に就職する若い人達を増やすために必要な取り組みについては、回答順位に応じて得点を付与する加重平均により集計・分析を行った。その結果、全体では「賃金・福利厚生改善を図る」が最も多く、次いで「若者に関心の高い企業を多く誘致する」、「仕事と生活の調和(ワークライフ・バランス)」が実現できる環境を整備する、またはその取組を推進する企業を育成する」の順となった。



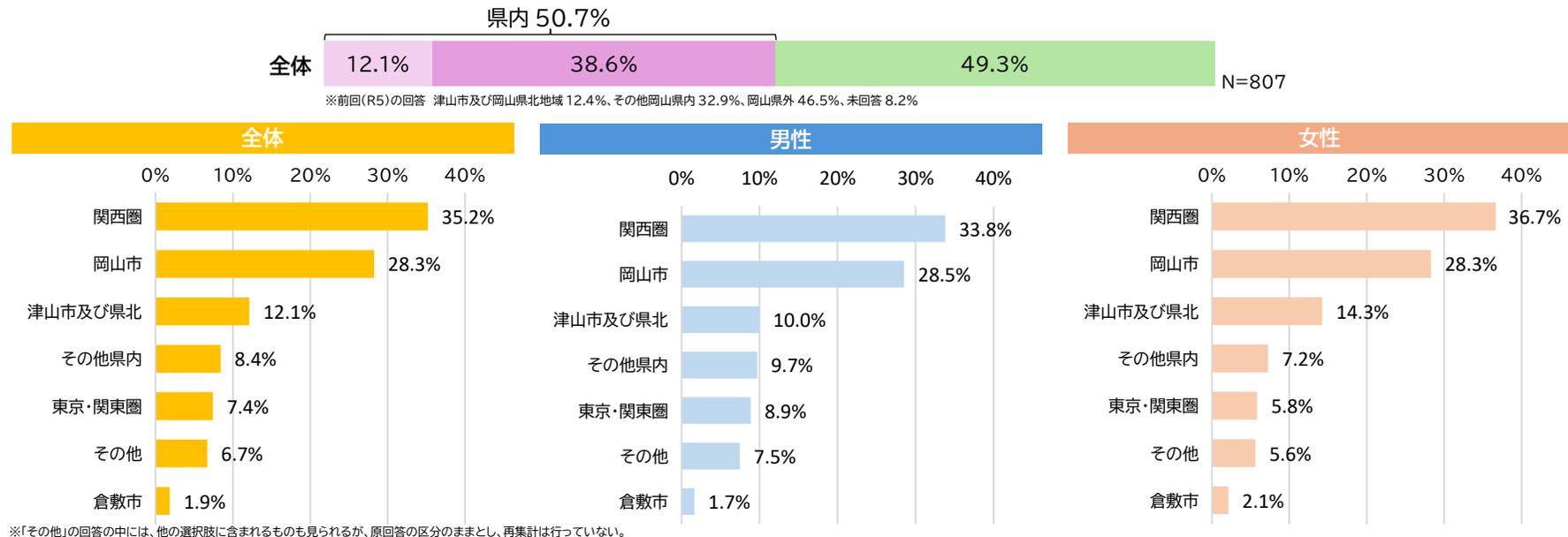
※回答の順位に応じて得点を付与する加重得点法(1番目の回答を3点、2番目の回答を2点、3番目の回答を1点として得点化し、合計点に対する割合で算出)により集計している。



「その他」の主な回答内容(丸数字は類似の回答数、数字のないものは①)
 都市機能の充実③、夜間の治安向上、賃貸住宅の整備 他

現時点で進学を希望している地域(進学希望者のみ)

- 現時点で進学を希望している地域については、全体では「圏域内」が 25.5%、「圏域外」が 74.5%となった。「圏域外」は前回調査と比較すると 6.3 ポイント上昇した。希望地のエリア別では、全体・男性・女性ともに「関西圏」が最も多く、次いで「岡山市」、「津山市」の順となった。「関西圏」が最も多い傾向は、調査開始以来継続している。



「その他」の主な回答内容(丸数字は類似の回答数,数字のないものは①)
 中国地方⑧,四国地方⑦,九州地方⑤,中部地方④,北陸地方②,海外,決まっていない・迷っている⑦
 ※具体的な都道府県名または都市名が書かれた回答はエリア別にまとめた
 ※複数回答があった場合は、それぞれで集計した。

クロス集計 「津山市及び県北」を選択した回答者(N=98)の属性

在籍する学科

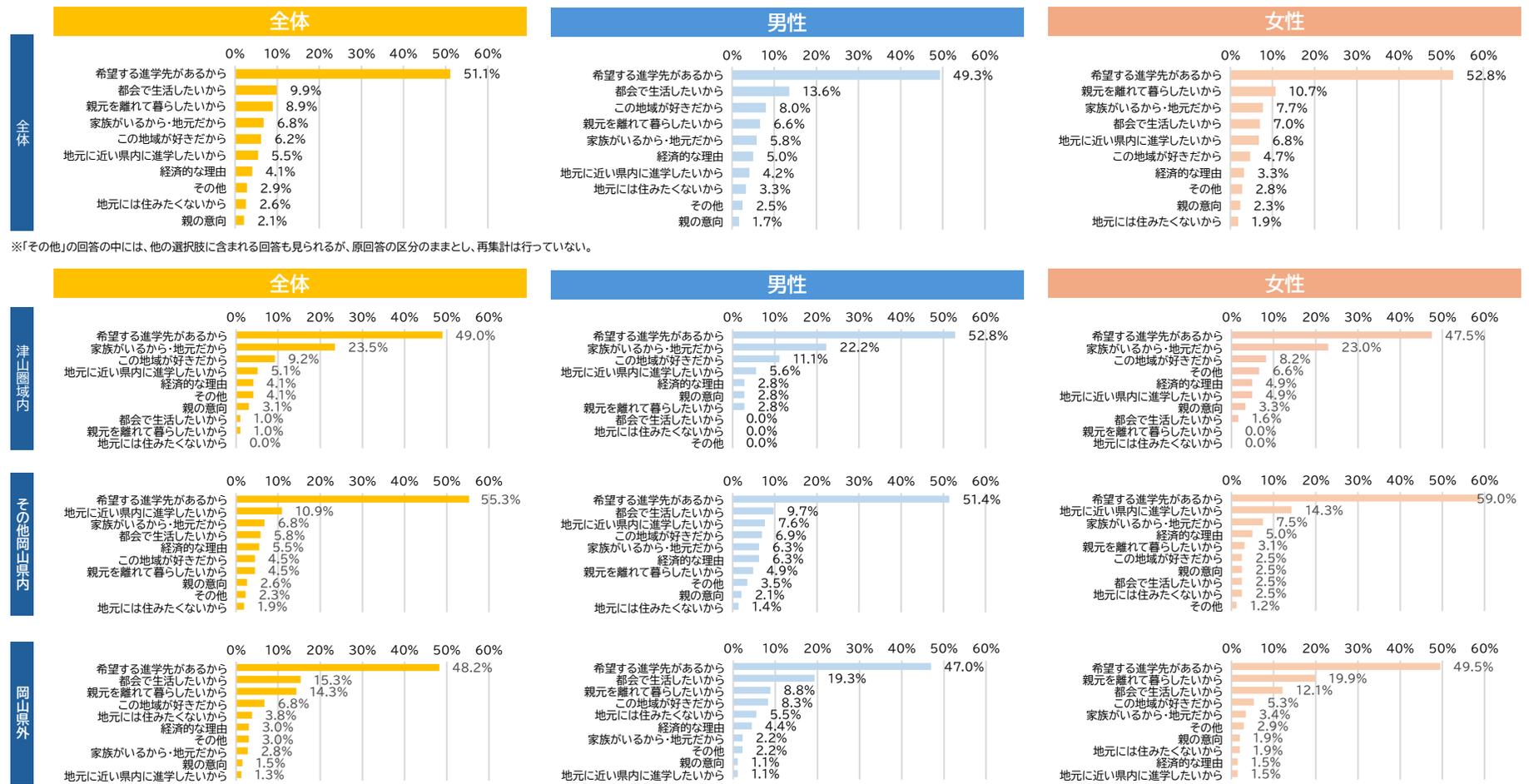
普通科④,看護科③,総合理工学科⑧,総合学科⑦,機械科②,情報ビジネス科②,食物調理科②,地域ビジネス科,ビジネス科,理数科

将来就きたいと考えている仕事の分野

医療・福祉④,教員・保育士・幼稚園教諭⑬,電気・電子・機械⑧,食品・化粧品⑥,IT エンジニア⑤,公務員⑤,クリエイティブ系②,弁護士・税理士② 他

進学先を選ぶポイント(進学希望者のみ)

○ 進学先を選ぶポイントについては、全体では「希望する進学先があるから」が最も多く、次いで「都会で生活したいから」、「親元を離れて暮らしたいから」の順となった。また、進学希望地域別に見ても、いずれの地域においても「希望する進学先があるから」が最も多かった。



※「その他」の回答の中には、他の選択肢に含まれる回答も見られるが、原回答の区分のままとし、再集計は行っていない。

若い人達が地元就職し、定住するために、地元の市町村がすべきこと(自由記述)

- 本設問の回答者数は451人であり、回答内容を精査のうえ、事務局において大まかに分類を行った。なお、回答内容により複数の分類に該当すると判断したものについては、それぞれの分類に重複して計上した。
- 分類の結果、「魅力あるまちづくり」(128人)が最も多く、次いで「公共交通機関の整備」(115人)、「商業施設・娯楽施設の充実」(103人)、「生活環境の改善・利便性の向上」(77人)、「雇用の選択肢確保・企業誘致」(58人)、「支援制度・補助金の拡充」(38人)、「賃金水準の引き上げ」(34人)、「情報発信」(30人)、「教育環境の改善」(20人)、「福利厚生の充実」(12人)の順となった。

(自由記述の主な内容)※回答内容を整理のうえ、代表的なものを抜粋して掲載

- ・若い人たちが働くために戻ってきたいと思えるような交通の整備や住みやすい環境づくり
- ・交通の利便性をもっと良くして、子どもに興味のある店や街、若者がここでいられるような街にして、会社ももっと起業でき、福利厚生も良い働きやすい環境づくりをすといと思う。
- ・交通の便がよく、安全な地域にすること医療施設やその他の施設などが整った環境を作ること。(例えば空き家を減らして、空いた場所に新しい施設を設置するなど)
- ・もっと町を活性化すること。商業施設も衰退していくばかりで、発展させていく箇所はたくさんまだまだあると思う。
- ・若者にとって岡山は住みやすいところだけど、津山市とかになると遊ぶところや観光スポットなど子どもたちにとって遊び場がないため、都会などの遊び場やイベントなど色々な事が都会にあるため都会で過ごしてみたいという気持ちが出て、地元から離れることになってしまう。
- ・交通手段がほとんど車の為、移動手段が限られており、免許持っていない人にとっては移動しづらい。
- ・教育や医療の向上も重要だと考える。なぜなら、少子高齢化が加速し、この津山市も打撃を受けていると感じる。小学校中学校の合併についてなど様々な問題があるなか、それを地域の人たちの意見を合わせて見直していくべきではないかと考える。
- ・自然が豊かであることを活かしてほしい。放置された自然と手入れされた自然では感じ方が異なってくる。都市化を進めることは人が集まりやすくなって良い効果を生むこともあるが、せっかくある自然を壊すより地域の人も安らぐような自然を作っていくことで、自分の街を好きになれるような環境をつくれると考える。
- ・若い世代が地元で留るためには、仕事があるという経済的側面だけでなく、ここで生きていきたいと思える生活の質と将来への期待感を生み出す事が大切だと感じる。
- ・地元から出なくても良い程に街の利便性を向上させること。お店を増やしたり、公共交通機関を増やすこと。また、給料が良い企業を多く誘致すること。
- ・経済的支援、住環境の整備、魅力的な仕事の創出、コミュニティづくりを意識する
- ・魅力的な企業を誘致したり、高校を卒業して起業した人たちに支援金を与える。(アメリカのシリコンバレーみたいな感じ)
- ・充実した福利厚生や賃金のアップにつながる政策。
- ・高校・予備校・大学などの教育設備を整えて若い人達への教育の質を整える。若い人達の関心が高い分野の企業を設置する。交通設備を整える。
- ・車以外の交通手段を作り、働くところを増やしたり、育児関連に力を入れる。
- ・働きたいと思える仕事や企業を増やす。給料や働き方などの環境をよくする。住みやすい住宅や交通、買い物環境を整える
- ・ホワイト企業をいっぱいつくる
- ・若者が圏外に出たいと思う理由をなくす

- ・住みやすいまちをつくること。閉塞感や窮屈さを感じる場所に移住者は来ないと思う。
- ・娯楽施設がないし、津山にはいい企業がそんなにない。車を持たないと好きなところへいけない。結果的にはインフラ系や娯楽系を増やせばいいけどそんな簡単にはいかないから津山の良さや津山の企業を引き続き学生たちにPRして行くしかない。
- ・商業施設を増やしたり、交通網の見直し、若者が生き生きと生活できて、高齢化の問題にもしっかりと目を向けられている政治が行われているかが重要。
- ・ネット環境を整えるべき。光回線で平均無線速度130mbsはさすがに終わってる。若い世代は良くも悪くもネットに依存してる。そのネットが終わってる街に来たい、住みたい訳がない。
- ・子育て世代などに対する支援を充実させること。手取りが増えるような支援。
- ・津山市はお店も多く、住みやすい環境だとは思いますが、やはり娯楽施設が少ないと考えます。若者は服などの商業施設や、ボーリング、カラオケ、映画館などの娯楽施設に強い関心があり、そこに興味を惹きつけることで、魅力のある津山に住んでいたいと思うでしょう。
- ・近代的な建物や遊べる施設を増やすことが近道だと思う。施設として具体的に、スケボーパークや喫茶店のような落ち着ける場所も必要だと思われる。
- ・給料や福利厚生で都会に負けない企業があることを知らせる。買い物や遊び等で困らない街を作る。
- ・県外で就職をしたとしても、転職して戻ってくるという選択をしやすいようにする。
- ・都市開発だけでなく、地域に根ざした企業を増やし、イベントやパブリックな施設などを増やすべき。
- ・子どもの頃にここにいたいと思えるような経験をさせること。
- ・最低賃金を上げる、交通不便をなくす。例えば、電車やバスの本数を増やすとか。一手不足で無理かもってなったらアプリでタクシーを呼べるようにするとか。
- ・お店を充実させたり、若者が楽しめる施設を増やす。自動車ももっと便を増やして交通面を充実させる、ICOCAとか使えるほうがいいのかも。
- ・起業や就職、定住のためのサポート体制を充実させる。病院、医療機関を増やす。高校以降の学校機関の魅力発信や進学先を増やす。
- ・東京などの大都市ほどまではいかないけど、若い人が来る目的になる場所を作る。スーパーや飲食店などといったお店を増やす。設備が古いところがあるためできる範囲で新しくする。
- ・都会にでるよりも田舎にいたほうがいいメリットをつくる。
- ・子育て支援と市町村の活発化(複合施設の設置など)
- ・もっと交通や商業などが住みやすいと思えるような環境を作ってから様々な企業を宣伝していかないと人が興味を持ったとしても定住までに至らないと思いました。特に交通に関してはバス・電車等の調整を行っていただき、学生のためのバスや、一日に限られた本数でもいいから大型のバスを出すなどの工夫がほしいです。

若い人達が地元就職し、定住するために、地元の企業がすべきこと(自由記述)

- 本設問の回答者数は372人であり、回答内容を精査のうえ、事務局において大まかに分類を行った。なお、回答内容により複数の分類に該当すると判断したものについては、それぞれの分類に重複して計上した。
- 分類の結果、「賃金・給料の引き上げ」(87人)が最も多く、次いで「情報発信」(78人)、「企業の魅力ややりがいの向上」(69人)、「休日数の増加や福利厚生制度の拡充」(65人)、「職場環境の改善」(52人)、「ワークライフバランスの推進」(15人)、「社員教育・研修の充実」(12人)、「採用の拡大」(9人)、「若者のトレンドを取り入れる」(5人)の順となった。

(自由記述の主な内容)※回答内容を整理のうえ、代表的なものを抜粋して掲載

- ・津山だからこぞできる、津山でなければできないといった唯一無二の魅力、強みを作ること。それによって若者の関心を引くだけでなく、消費者の関心も買うことにつながり、企業の拡大→給料アップにもつながり、若者を津山市に留めることができると思う。
- ・給料が安いからもっと上げる。そもそもどんな企業があるのか知らないから企業PRを若者に届くようにする。
- ・もっと楽しそうと思える仕事を増やす。
- ・地元ならではの地域連携やサービスを図る
- ・給料や休みなどの働く条件をよくする。働きやすい雰囲気や人間関係をつくる。地元でも成長できる仕事ややりがいを用意する。
- ・ホワイト企業になる
- ・若者に興味を持ってもらえるように企業が説明会などを開く。
- ・職場環境を見直していい企業であることを学生に根気強くPRするしかないと思う。
- ・紹介したらお互いにお金が入ってくるなどの紹介制度をつける。主な仕事場は若い人は若い人同士で仕事をできるようにしておく。
- ・給料や休暇、福利厚生などもっと良い条件を提示し、若い人材をたくさんいれること。
- ・社員の教育体制を整えたり、福利厚生をよくする。学校に訪問して、学生に知ってもらう機会を増やす。
- ・給料高くて、福利厚生良くて、周りのアクセスが良くて、職種が豊富。
- ・企業としての価値を具体的に提示する。
- ・リモートワークができるようなDX推進。
- ・学校への情報だと考えます。就職でみんな焦っている中、自分で情報を収集しようと思うと、やはり偏りが出ると思います。学校に来る情報は「見てもいいよ」のように強制力はありません。しかし、自分が興味のない情報を得るのも意味がありません。よって、企業説明会のようなものを開催し、学校に強制参加させることで、自分の興味のある企業だけを聞きに行くことができると思いました。
- ・都会に負けないぐらいいい待遇に近づける。
- ・会社見学などの機会を増やす
- ・トレンドをとりいれる。古い感じが魅力を感じない。
- ・ワークライフバランスのとりのやすさ、地元で働くメリットをうまく宣伝していく必要がある。そして企業自体を大きくし町全体を相対的に大きくしていく必要がある。
- ・地元だからこぞできることをさらにPRする。
- ・給料が良く、十分な休暇が取れるようにすべきだと思う。
- ・もっと面白いイベントをしたり話題になるようなことをする。場所を開く。
- ・若い人でも安心して働けるような職場づくりに取り組む

- ・先輩とのコミュニケーション(わからないとこをきける関係、雰囲気)
- ・働きやすい環境を整える。
- ・その企業の魅力を多くの人に伝えること
- ・福利厚生を整える。その地域でしかできないことをやれる事業や商業を行なっていく。
- ・最新のトレンドを取り入れる。
- ・給料アップ。都会に比べ、田舎は給料が安いので都会に出たほうはいいと思う。実際、東京付近である程度安く住める家を住居とし、東京など都市部で働くほうが良い生活ができると親族から話を聞いた。
- ・もう少し盛り上げるイベントがあっても楽しいと思います。
- ・企業の中身というよりもそれぞれにやりたいことがあると思うので数を多くできると良いと思います。
- ・地元出身者への優遇をつける。
- ・働きやすいような雰囲気づくり。
- ・こんな事ができると分かりやすくSNSなどで広げる。
- ・若者が就職したいと思える企業になる。
- ・もっと高い技術を学べること。
- ・安定した企業の運営
- ・給料や福利厚生などを充実させて子育て世代などを応援する対策をする。
- ・これからの事を考えたとき、安心して生活できているとおもわせること。
- ・古い考えを守るのも重要だが、新しい技術、考えを取り入れることが大切だと思う。
- ・若者たちに興味を持って貰えるような職種を増やす。
- ・一つでも強みをもつ。
- ・若者との交流を増やし、企業のことを知ってもらう。
- ・働いていて楽しい企業にする。
- ・企業の良さをアピール
- ・給料や待遇を良くする
- ・仕事の魅力、経済的な安定、働きやすさを意識する。
- ・地元の良さを伝える活動をする。
- ・若者の生活面などのサポートを強化する。
- ・安全な職場環境
- ・企業の良さを伝えたり働きやすい会社の雰囲気をつくる。
- ・給料の高い、幅広い仕事ができる。採用の幅が大きめ。
- ・地元の企業がネームバリューを大きくしたり給料を上げる。

資料(アンケート画面①)

手続き申込

ホーム > 申込

申込

選択中の手続き名: 令和7年度 高校生の就職意識調査

問合せ先 [+開く](#)

説明

このアンケートは、将来の就職について、高校生・高専生のみなさんがどのように考えているかを知るためのものです。進学を考えている人、就職を考えている人、まだ迷っている人—どの立場の気持ちも、大切な意見です。

みなさんの回答は、地元での就職支援や、働きやすい環境づくり、これからのまちづくりに活かされます。一人ひとりの声が、将来の選択肢を広げ、より良い働き方につながっていきます。

スマートフォンからでも短時間で回答できますので、気軽に、今の正直な気持ちでご協力ください。

※回答内容は集計して分析し、個人が特定されることはありませんので、安心してお答えください。
受付時期 2026年1月6日12時00分～ 随時

受付時期

1.学校名 必須

あなたが在籍している学校名を選択してください

- 津山高等学校
- 津山東高等学校
- 津山工業高等学校
- 津山商業高等学校
- 岡山県美作高等学校
- 勝間田高等学校
- 真庭高等学校
- 勝山高等学校 (勝山校地)
- 勝山高等学校 (蒜山校地)
- 林野高等学校
- 滋慶学園高等学校美作キャンパス
- 津山工業高等専門学校 (津山高専)

選択解除

2.学科名 必須

あなたが在籍している学科名を選択してください

- 普通科
- 理数科
- 総合学科
- ビジネス科
- 食物調理科
- 看護科
- 専攻科 (看護)
- 機械科
- ロボット電気科
- 工業化学科
- 土木科
- 建築科
- デザイン科
- 地域ビジネス科
- 情報ビジネス科
- 食農生産科
- 経営ビジネス科
- 総合理工学科

選択解除

3.性別 必須

あなたの性別を選択してください

- 男性
- 女性
- 回答しない

選択解除

4-1.出身地 必須

あなたの出身地を選択してください

- 津山圏域内 (津山市・鏡野町・勝央町・奈義町・久米南町・美咲町のいずれか) [4-2へ進んでください]
- 津山圏域外 [4-3へ進んでください]

資料(アンケート画面②)

選択解除

4-2.出身地【4-1で「津山圏域内」を選択した方】 選択肢の結果によって入力条件が変わります

【4-1で「津山圏域内」を選択した方】 あなたの出身地を選択してください

- 津山市
- 鏡野町
- 勝央町
- 奈義町
- 久米南町
- 美咲町

選択解除

4-3.出身地【4-1で「津山圏域外」を選択した方】 選択肢の結果によって入力条件が変わります

【4-1で「津山圏域外」を選択した方】 あなたの出身地を選択してください

- 真庭市
- 新庄村
- 美作市
- 西粟倉村
- 岡山市
- 倉敷市
- 玉野市
- 笠岡市
- 井原市
- 総社市
- 高梁市
- 新見市
- 備前市
- 瀬戸内市
- 赤磐市
- 浅口市
- 和気町
- 早島町
- 里庄町
- 矢掛町
- 吉備中央町

- 岡山県外

選択解除

5.卒業後の進路 必須

あなたが現時点で希望している卒業後の進路を選択してください

- 就職（家業の継承・起業を含む）
- 進学
- その他

選択解除

6-1.将来就きたい仕事の分野 必須

あなたが将来就きたいと考えている仕事の分野を選択してください

- 福祉・医療
- 公務員
- 教員
- 食品・化粧品
- 電気・電子・機械
- 建築・土木
- ファッション・美容系
- クリエイティブ系（インターネット・マルチメディアなど）
- 旅行・観光
- ITエンジニア
- 農林水産
- 金融・不動産
- 弁護士・税理士
- 飲食業
- 理容・美容
- コンサルタント
- 運輸
- 芸能・スポーツ
- その他【6-2に具体的に記入してください】
- 全く想像できていない

選択解除

6-2.将来就きたい仕事の分野（6-1で「その他」を選んだ方）

資料(アンケート画面③)

(6-1で「その他」を選んだ方) あなたが将来就きたいと考えている仕事の分野を具体的に記入してください (全角のみ)

7-1. 将来就きたい職種 **必須**

あなたが将来就きたいと考えている職種を選択してください

- 現場作業員 (例: 技能・修理・作業)
- 営業職 (例: ルートサービス)
- 販売職 (例: 販売員)
- 技術専門職 (例: 教師・設計・研究・SE・看護師・介護士・保育士)
- 事務職 (例: 一般事務・経理事務・公務員(行政職))
- その他【7-2に具体的に記入してください】

選択解除

7-2. 将来就きたい職種 (7-1で「その他」を選んだ方)

(7-1で「その他」を選んだ方) あなたが将来就きたいと考えている職種を具体的に記入してください (全角のみ)

8-1. 主な相談相手【1番目】 **必須**

あなたが将来就職等を考えるにあたって【1番目】に相談する主な相談相手を選択してください

- 家族や親戚
- 友達や先輩
- 学校の先生
- 相談はほとんどしない
- その他【8-2に具体的に記入してください】

選択解除

8-1. 主な相談相手【2番目】 **必須**

あなたが将来就職等を考えるにあたって【2番目】に相談する主な相談相手を選択してください (1番目に選択したものと重複しないようにしてください)

- 家族や親戚
- 友達や先輩
- 学校の先生
- 相談はほとんどしない
- その他【8-2に具体的に記入してください】

選択解除

8-2. 主な相談相手 (8-1で「その他」を選んだ方)

(8-1で「その他」を選んだ方) あなたが将来就職等を考えるにあたって相談する主な相談相手を具体的に記入してください (全角のみ)

9-1. 就職先を選ぶポイント【1番目】 **必須**

あなたが就職先を選ぶポイントとして【1番目】に重視するものを選択してください

- 企業イメージ
- 給料
- やりがい
- 職種
- 安定性
- 働く場所や地域
- 将来性
- 休暇・就業条件など働きやすさ
- 家族や先生の意見
- その他【9-2に具体的に記入してください】

選択解除

9-1. 就職先を選ぶポイント【2番目】 **必須**

あなたが就職先を選ぶポイントとして【2番目】に重視するものを選択してください (1番目に選択したものと重複しないようにしてください)

- 企業イメージ
- 給料
- やりがい
- 職種
- 安定性
- 働く場所や地域
- 将来性
- 休暇・就業条件など働きやすさ
- 家族や先生の意見
- その他【9-2に具体的に記入してください】

選択解除

資料(アンケート画面④)

9-1.就職先を選ぶポイント【3番目】 必須

あなたが就職先を選ぶポイントとして【3番目】に重視するものを選択してください（1番目と2番目に選択したものと重複しないようにしてください）

- 企業イメージ
- 給料
- やりがい
- 職種
- 安定性
- 働く場所や地域
- 将来性
- 休暇・就業条件など働きやすさ
- 家族や先生の見解
- その他【9-2に具体的に記入してください】

選択解除

9-2.就職先を選ぶポイント（9-1で「その他」を選んだ方）

（9-1で「その他」を選んだ方）あなたが就職先を選ぶポイントとして重視するものを具体的に記入してください（全角のみ）

10-1.就職希望地 必須

あなたの就職希望地を選択してください

- 津山圏域内（津山市・鏡野町・勝央町・奈義町・久米南町・美咲町）【10-2へ進んでください】
- 津山圏域外【10-3へ進んでください】

選択解除

10-2.就職希望地【10-1で「津山圏域内」を選択した方】

選択肢の結果によって入力条件が変わります

【10-1で「津山圏域内」を選択した方】あなたの就職希望地を選択してください

- 津山市
- 鏡野町
- 勝央町
- 奈義町
- 久米南町
- 美咲町
- 圏域内ならどこでも

選択解除

10-3.就職希望地【10-1で「津山圏域外」を選択した方】

選択肢の結果によって入力条件が変わります

【10-1で「津山圏域外」を選択した方】あなたの就職希望地を選択してください

- 岡山市
- 倉敷市
- その他県内
- 関西圏
- 東京・関東圏
- その他

選択解除

11-1.就職希望地を選んだ理由【10-1で「津山圏域内」を選択した方】

選択肢の結果によって入力条件が変わります

【10-1で「津山圏域内」を選択した方】就職希望地を選んだ理由を選択してください

- この地域が好きだから
- 家族がいるから・地元だから
- 希望する仕事があるから
- 経済的な理由
- 親の意向
- 給料や待遇が良いから
- 自立したいから
- その他【11-2に具体的に記入してください】

選択解除

11-1.就職希望地を選んだ理由【10-1で「津山圏域外」を選択した方】

選択肢の結果によって入力条件が変わります

【10-1で「津山圏域外」を選択した方】就職希望地を選んだ理由を選択してください

- この地域が好きだから
- 希望する仕事があるから
- 経済的な理由
- 親の意向
- 都会で生活したいから
- 津山に近い県内で就職したいから

資料(アンケート画面⑤)

- 地元には希望する、またはスキルを活かせる仕事がないから
- 給料や待遇が良いから
- 自立したいから
- 地元には住みたくないから
- その他【11-2に具体的に記入してください】

選択解除

11-2.就職希望地を選んだ理由（11-1で「その他」を選んだ方）

（11-1で「その他」を選んだ方）就職希望地を選んだ理由を具体的に記入してください（全角のみ）

12-1.津山圏域内に就職する若い人達を増やすために必要なこと【1番目】 必須

あなたが津山圏域内に就職する若い人達を増やすために必要なこととして【1番目】に大切だと思うものを選択してください

- 賃金・福利厚生改善を図る
- 若者に関心の高い企業を多く誘致する
- 地元企業の育成と経営の近代化を図る
- 地元企業の魅力を積極的に紹介し、若者との交流の機会を設ける
- 仕事と生活の調和（ワークライフ・バランス）が実現できる環境を整備する。または、その取組を推進する企業を育成する。
- 商業・医療・福祉など都市機能の充実を図り、居住環境を整備する
- 交通体系（道路・公共交通機関）を整備し、通勤・通学の利便を図る
- 大学・短大・専門学校等教育施設の充実を図る
- その他【12-2に具体的に記入してください】

選択解除

12-1.津山圏域内に就職する若い人達を増やすために必要なこと【2番目】 必須

あなたが津山圏域内に就職する若い人達を増やすために必要なこととして【2番目】に大切だと思うものを選択してください（1番目に選択したものと重複しないようにしてください）

- 賃金・福利厚生改善を図る
- 若者に関心の高い企業を多く誘致する
- 地元企業の育成と経営の近代化を図る
- 地元企業の魅力を積極的に紹介し、若者との交流の機会を設ける
- 仕事と生活の調和（ワークライフ・バランス）が実現できる環境を整備する。または、その取組を推進する企業を育成する。
- 商業・医療・福祉など都市機能の充実を図り、居住環境を整備する
- 交通体系（道路・公共交通機関）を整備し、通勤・通学の利便を図る

- 大学・短大・専門学校等教育施設の充実を図る
- その他【12-2に具体的に記入してください】

選択解除

12-1.津山圏域内に就職する若い人達を増やすために必要なこと【3番目】 必須

あなたが津山圏域内に就職する若い人達を増やすために必要なこととして【3番目】に大切だと思うものを選択してください（1番目と2番目に選択したものと重複しないようにしてください）

- 賃金・福利厚生改善を図る
- 若者に関心の高い企業を多く誘致する
- 地元企業の育成と経営の近代化を図る
- 地元企業の魅力を積極的に紹介し、若者との交流の機会を設ける
- 仕事と生活の調和（ワークライフ・バランス）が実現できる環境を整備する。または、その取組を推進する企業を育成する。
- 商業・医療・福祉など都市機能の充実を図り、居住環境を整備する
- 交通体系（道路・公共交通機関）を整備し、通勤・通学の利便を図る
- 大学・短大・専門学校等教育施設の充実を図る
- その他【12-2に具体的に記入してください】

選択解除

12-2.津山圏域内に就職する若い人達を増やすための方法（12-1で「その他」を選んだ方）

（12-1で「その他」を選んだ方）あなたが津山圏域内に就職する若い人達を増やすために必要なこととして大切だと思うものを具体的に記入してください（全角のみ）

【進学希望者のみ】 13-1.進学を希望する地域 選択肢の結果によって入力条件が変わります

あなたが現時点で進学を希望している地域を選択してください

- 津山市及び県北
- 岡山市
- 倉敷市
- その他県内
- 関西圏
- 東京・関東圏
- その他

選択解除

【進学希望者のみ】 13-2.進学を希望する地域（13-1で「その他」を選んだ方）

資料(アンケート画面⑥)

(13-1で「その他」を選んだ方) あなたが現時点で進学を希望している地域を具体的に記入してください (全角のみ)

【進学希望者のみ】 14-1.進学先を選ぶポイント 選択肢の結果によって入力条件が変わります

あなたが進学先を選ぶポイントを選択してください

- この地域が好きだから
- 家族がいるから・地元だから
- 希望する進学先があるから
- 経済的な理由
- 親の意向
- 都会で生活したいから
- 地元に近い県内に進学したいから
- 親元を離れて暮らしたいから
- 地元には住みたくないから
- その他

選択解除

【進学希望者のみ】 14-2.進学先を選ぶポイント (14-1で「その他」を選んだ方)

(14-1で「その他」を選んだ方) あなたが進学先を選ぶポイントを具体的に記入してください (全角のみ)

15-1.若い人達が地元就職し、定住するために、地域の市町村がすべきことは何でしょうか？

自由に記載してください

入力文字数: 0 / 400

15-2.若い人達が地元就職し、定住するために、地域の企業がすべきことは何でしょうか？

自由に記載してください

入力文字数: 0 / 400

確認へ進む >

入力中のデータを一時保存・読み込み

【申込データ一時保存、再読み込み時の注意事項】

- ・添付ファイルは一時保存されません。再読み込み後は、必要に応じて、ファイルを添付し直してください。
- ・パソコンに一時保存した申込データはパソコンで閲覧・加筆・修正することはできません。
- ・システムに読み込む場合は一時保存した手続きの画面でしか読み込めませんので、ご注意ください
- ・入力中の申込データをパソコンに一時保存しますので、保存した申込データの取扱いは、申請者の責任において管理をお願いします。

「入力中のデータを保存する」では申込みの手続きが完了しておりませんのでご注意ください。

※入力中の申込データをパソコンに一時保存します。

※一時保存した申込データを再度読み込みます。

↓ 入力中のデータを保存する

↑ 保存データの読み込み

●●●「各手続きの内容」に関するお問い合わせ先●●●
直接各手続きの担当課にお問い合わせください。

●●●「操作」に関するお問い合わせ先●●●
【重要】 手続き内容に関するお問い合わせには対応できません。
右端（パソコン）又はメニュー（スマートフォン）の「問い合わせフォーム」からお問い合わせください。

お問い合わせ

システム操作に関するお問合せ(各手続き内容に関するお問い合わせを除く)

フォームでお問い合わせ >

各手続き等の内容に関するお問い合わせ
各手続きの問い合わせ先を確認し、ご連絡ください。

サポート

ヘルプ ☒
よくあるご質問 ☒

配色変更

本サービスの配色を変更することができます。

標準 青 黄 黒

お問い合わせ先

発行：若者の定住化推進委員会

事務局：津山広域事務組合

〒708-0022

岡山県津山市山下 92-1 津山圏域雇用労働センター内

TEL：(0868) 24-3633 FAX：(0868) 22-9647

E-mail：koyou@tvt.ne.jp <http://www.koyou.or.jp/>

令和8年3月発行